

2020年診療報酬改定研究会

＜北阪神地域 診療所向け＞

＊別途送付(2月末～3月初旬発送予定)の『案内ハガキ』を当日必ずお持ちください。
医科『点数表改定のポイント』、歯科『2020年改定の要点と解説』1冊と無料で交換します。
追加冊子は、有償にて販売します。

＊スタッフの方もご参加いただけます。

＊他会場、病院・有床診療所向け会場は、兵庫保険医新聞2月25日号、または協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/>)『2020年度診療報酬・介護報酬改定特設ページ』をご覧ください。

医科 日時 3月26日(木) 14時～

会場 いたみホール6階 中ホール

(伊丹市宮ノ前1-1-3、TEL072-778-8788、阪急伊丹駅より北へ徒歩3分、JR伊丹駅より西へ徒歩8分)

歯科 日時 3月26日(木) 19時～

会場 伊丹市産業・情報センター4階 会議・研修室A

(伊丹市宮ノ前2-2-2、TEL072-773-5007、阪急伊丹駅より北東へ徒歩7分、JR伊丹駅より西へ徒歩8分)



幹事会だより

第390回 2月6日(木)いたみホール 参加7人

◆北阪神支部の会員数と組織率

2/4 現在 医科354人(75%)、歯科203人(61%)

◆情勢と医療運動対策

「みんなでストップ!負担増」署名の支部目標について、協力会員数78人、4600筆とすることを確認した。また、接遇研修会や文化企画など4月以降の企画について議論した。

◆当面の支部活動

2020年診療報酬改定研究会(上記案内を参照)

◆次回幹事会

3月5日(木)14時30分～ 宝塚市中央公民館

お問い合わせはTEL 078-393-1817 有本・小川まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2020年2月25日号 No.302

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

<http://www.hhk.jp/>

新春政策研究会「消費税増税と国民・患者負担増計画」

社会保障の充実で 豊かな社会に

伊丹市・林医院 林 宗茂



(上) 加藤先生が経済の好循環のために社会保障の充実が必要だと解説

(右) 患者負担増による受診抑制の危険があるなど活発に意見交換した



支部は、1月18日に新春政策研究会を宝塚市内で開催し、役員ら5人が参加した。協会副理事長で政策部長の加藤擁一先生が「消費税増税と国民・患者負担増計画」をテーマに講演した。参加した林宗茂先生の感想文を紹介する。

今回、加藤先生は次のポイントについて講演されました。①消費税は社会保障に使われてきたのか、②消費税が経済や国民生活に与える影響、③まだまだ続く社会保障改悪、④社会保障予算の抑制を転換し、社会保障を充実させる方法はある。

(次のページに続く)

(前のページより)

まず、①について、2014 年に消費税を 8% に増税する際、政府は広報などで「消費税の引き上げ分は全額社会保障の充実と安定化に使われます」と説明していました。しかし実際には、増税分約 5 兆円のうち約半分の 2.3 兆円が政府の借金返済に使われ、「社会保障の充実」には 1 兆円程度しか使われていません。それどころか、医療や年金制度の改悪が続いています。



終了後の新年会で加藤先生を囲み乾杯

②は、消費税増税が無職高齢者など低所得者層の生活を直撃し、個人消費の落ち込みは深刻で、経済指標はますます悪化、経済成長も見込みがない状況です。

③では、社会保障改悪として、(イ) 紹介状なく大病院を受診した患者に追加負担が発生する対象病院を 200 床以上の地域医療支援病院に拡大、(ロ) 高額介護サービス費制度の上限引き上げ、(ハ)75 歳以上の医療費窓口負担原則 2 割化、(ニ) 外来受診時定額負担の導入などが狙われています。その他、市販類似薬の保険はずし、医療版マクロスライド制、マイナンバーで金融資産を把握し、一定の資産を持つ人の医療や介護の自己負担を引き上げることなど、さらなる患者負担増も検討されています。

④では、社会保障予算を削る一方で、防衛予算を上積みしています。2016 年から 2018 年の 3 年間で社会保障費を 4900 億円も減額しながら、ミサイル防衛予算を 7022 億円増額している状況です。

以上から、社会保障を充実させることの大切さを教えていただきました。講演終了後の質疑応答でも活発な意見交換ができ、有意義な研究会でした。

最後に、安倍内閣の行ってきた「アベノミクス」が国民に与える効果は、いまや疑問であり、経済政策は有権者一人ひとりが考えるべき問題です。今後政府は、逆進性の高い消費税増税や社会保障の改悪をやめ、社会保障の充実に向かえば、社会も豊かになり経済成長にも大きく影響するのではないのでしょうか。

「みんなでストップ！負担増」署名にご協力を



協会では、政府が進める医療や介護の患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ！ 負担増」署名に取り組んでいます。

75 歳以上の患者窓口負担の原則 1 割から 2 割への引き上げなどの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。

患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画を中止させましょう。署名の注文などは TEL078-393-1807 まで

宝塚社保協自治体キャラバン

いのちと暮らしを守る 自治体の役割

支部も参加する社会保障をよくする宝塚の会（宝塚社保協）は、1 月 14 日に宝塚市役所で対市交渉（自治体キャラバン）を開催。脇野耕一副支部長（宝塚社保協副会長）ら 17 人が参加し、国保、介護、生活保護等の市の社会保障施策の充実を求め、宝塚市担当者らと意見を交換した。



社保協側から、国保税の滞納者の自家用車のタイヤをロックして差し押さえる旨を市の広報で周知することは加入者への脅しであると指摘。強行的な手段ではなく、相談体制の充実などの生活支援が自治体の役割だと訴えた。また、加西市など独自制度で子どもを均等割りの計算から除外する自治体があることを紹介し、宝塚市でも均等割を見直すべきだと訴えた。

また、脇野先生から子宮頸がん予防の HPV ワクチンの接種について、国は積極的に勧奨していないなかで姫路市のように市独自で無料接種制度を周知していることを紹介。市民のいのちと健康を守るために、宝塚市でも積極的に勧奨すべきと訴えた。担当者は、「今後も情報収集し検討していく」と回答した。

生活保護について、市はケースワーカー数を増やしているものの、一人当たりの担当数が 120 件と、標準とされる 80 件を大きく上回っていることを指摘。ケースワーカーの数を増やし、丁寧に対応できる体制を作ることを要望した。

その他にも、保育所給食の質の維持や、介護保険の要介護区分の変更申請に時間がかかるため、容態が急変した利用者が介護用ベッドのなどの福祉用具をすぐに利用できないケースがあることを紹介し、迅速な対応を求めた。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

Web site でも
ご覧いただけます



＜ 3 月のテーマ ＞

月曜日	生理日の移動について	木曜日	高齢男性の排尿障害—前立腺肥大症—
火曜日	入れ歯の取り扱いについて	金土日	線維筋痛症
水曜日	そのしびれ、痛み、部位から病気がわかります		

20 日～ 22 日は木曜日のテーマを放送します